

総評

理科がやや難しかったですが、それ以外の教科は標準からやや易しめの出題でした。中2内容を中心に、中1内容も幅広く盛り込まれた出題でしたが、比較的よくできています。

入試や道コンなどの試験問題は、基本事項の組み合わせでできています。難しく感じられる問題も、要素に分解すると教科書の基本内容に落としこむことができます。どんな要素から成り立っていたのかを地道に見直すことで、知識を活用するコツが身につきます。

2年生の秋・冬は、入試に向けての基礎固めとして非常に重要で、成績が急に下がってしまう人が多い時期です。2年生までの内容をしっかり固めてしまえば、今後の学習は非常にスムーズになります。入試へのスタートとして、1・2年の内容をしっかりまとめましょう。

国語

標準的な難易度の出題でした。

㊦は、問一(5)「批判」の得点率がやや低くなりました。「判」が「反」や「評」になっているものが多くありました。㊦・㊧は、得点率が大幅に低くなるような問いはありませんでした。ただし、空欄に当てはまる表現を書くような記述問題では、空欄の前後とのつながりが悪い解答が目立ちました。自分の解答を空欄に当てはめ、前後の表現とのつながりがよいかを確かめるようにしましょう。㊨は、問五の得点率が低くなりました。問題文の「『経験の交換』の内容を明らかにしながら」という部分を踏まえていない解答が多く見られました。㊩は、問二の得点率がとても低くなりました。発言の始まりの部分は「いはく」や「問へば」など、終わりの部分は「と」や「とて」などの言葉に着目するとわかります。

数学

標準的な出題でした。3年生への進級を見すえて、間違えた内容はしっかり復習しておきましょう。

①問7の作図が難しかったようです。「2つの直線からの距離が等しい」の意味を理解しましょう。②問4、連立方程式の利用では、文字を使ってどの数量を表すかを判断し、実際に表す練習をしておきましょう。③は文字式の定番問題です。文字の数が多いと混乱するかもしれませんが、それぞれの値を整理して説明しましょう。

④は関数と図形の融合問題でしたが、いずれも基本的な考え方の組み合わせで答えを導けるものです。座標を文字を用いて正確に表せるようにすること、記述式の解答に慣れることが大切です。⑤は証明問題でした。利用した図形の性質はどれも基本内容ですから、証明に使えるように書き方の練習をしておきましょう。

社会

標準的な出題でした。

地理分野では、日本の地形など基本的な問題はよくできていましたが、①問3のアメリカの農業区分、④問5(1)の中部地方の産業に関する問題の得点率が低くなりました。公立高校入試で多く出題される資料を利用した問題のなかには、すでに学習した知識と関連づけて答えさせる問題もありますので、おもな国や県の位置、産業の特色などをまとめておきましょう。

歴史分野では、⑥問2、⑧問1、⑧問7の年代に関する問題や、⑧問5の日米和親条約に関する問題で得点率が低くなりました。どちらも苦手とする人が多い問題です。年代については教科書などを利用して歴史のおおまかな流れを確認し、日本が結んだおもな条約についてはその名称と内容を確認しておきましょう。

理科

やや難しい出題でした。

①は、問2、問3、問5の計算を必要とする問題は得点率が低くなりました。②は問3の記述が難しかったようです。モノコードの弦から出る音の高低は、どのようなことに関係するか確認しましょう。③は、全体によくできていました。基本的な内容も多かったので、間違えた人はしっかりと復習してください。④問4は、この実験について重要なポイントです。よく確認してください。また、全体を通して、計算を必要とする問題はどれも得点率が低くなりました。計算問題は難しいイメージがあるかもしれませんが、計算の内容自体は比較的平易なものが多く、演習を重ね、考え方を理解してしまえば得点源にすることもできます。今のうちにしっかりと対策しましょう。

英語

やや易しい出題でした。

①の問1や問2のような英文が1回しか読めない問題は入試でも出題されます。英文が読まれる前にイラストなどに目を通しておき、英文が読まれたあとにすぐに解答できるようにしましょう。

②と③は、2年生で習う文法項目を中心に出题しました。②の問3は he showed me～という英文を日本語にする問題でした。しっかり得点できたでしょうか。英文の形と意味は合わせて理解して、どのような解答形式にも対応できるようにしましょう。

④の選択問題は、2年生までに習う文法項目からの出題となりました。すべて教科書の基本文などを中心に出题しています。間違えた問題がある人は、3年生になる前に確実に得点できるようにしましょう。